

牛ウイルス性下痢ウイルスワクチンによる
中和抗体価維持期間に関する調査加藤 肇^{1)†} 一條祐一¹⁾ 江村有希子¹⁾ 佐藤礼一郎¹⁾高久英徳²⁾ 大西 守³⁾ 田島誉士⁴⁾

- 1) 根室地区農業共済組合西春別支所 (〒088-2576 野付郡別海町西春別81-2)
- 2) 網走家畜保健衛生所 (〒090-0008 北見市大正323-5)
- 3) 根室地区農業共済組合検査室 (〒086-1105 標津郡中標津町西5条南11-5)
- 4) 北海道大学大学院獣医学研究科付属動物病院 (〒060-0818 札幌市北区北18条西9丁目)

(2009年1月22日受付・2009年8月17日受理)

要 約

牛ウイルス性下痢ウイルス (BVDV) 生ワクチンの接種プログラム設定の参考にするため、ワクチン接種後の抗体の維持期間についての調査を行った。北海道根室地区の酪農場で飼養される育成牛20頭を試験に用い、BVDV1を成分に含む生ワクチン1回接種群10頭 (A群)、生ワクチン接種後にBVDV1とBVDV2を成分に含む不活化ワクチンを接種した群5頭 (B群) およびワクチン未接種群5頭 (C群) に区分した。A群は3年間の調査期間中にBVDV1とBVDV2に対する抗体価が上昇し維持されB群との間で抗体価に有意な差は認められなかった。C群でも抗体価の大きな上昇が認められなかったことから、調査期間中に野外株が牛群に侵入した可能性は低いと考えられた。BVDV1生ワクチンの1回接種により得られた抗体は少なくとも3年間維持されることが確認された。本症対策として育成期における生ワクチンの1回接種は有用な手段の一つと考えられた。

—キーワード：抗体価維持期間、牛ウイルス性下痢ウイルス (BVDV) ワクチン、BVDV1.

----- 日獣会誌 63, 33~37 (2010)

† 連絡責任者：加藤 肇 (根室地区農業共済組合西春別支所)

〒088-2576 野付郡別海町西春別81-2

☎0153-77-2301 FAX 0153-77-3577

E-mail : nosaikatohajime@isis.ocn.ne.jp